

やまぐち 市議会だより



山口市議会 スポーツ応援 議員連盟



設立総会 令和6年6月27日



山口市議会スポーツ応援議員連盟設立総会での集合写真です。

議員 31 名が構成員となり、本市のスポーツや武道が盛り上がるように、積極的に応援していきます。

臨時会・定例会特集	2
議案の審議結果	5
委員会ア・ラ・カルト	6
市長に聞きたい!	8
議会からのお知らせ	14

新たに議長・副議長を選出しました

5月臨時会

2024年
5/17

上程された議案

予算

1件

事件議決

5件



議長 入江 幸江

平素より市議会の活動に対してご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第12代議長として再任いたしました。これまでの2年間の振り返りと、これからの2年間のより活性化させ、市民の皆様信頼される議会を目指し奮闘してまいります。さらに、未来の地域を担う次世代のため、山口市議会議員31名で議論を交わし、より良い方向を導き出し、山口市の発展に寄与したいと考えております。

市民の皆様の負託に応えられるよう、現在も議員31名が全力で取り組んでおります。各定例会開催時には、ぜひ傍聴に来ていただきたいと思っております。

山口市を担っている山口市議会に関心を持っていただくことを切に願っております。



副議長 村上 満典

このたび、副議長の重任を拝し、あらためてその責任の重さを痛感しているところです。

二元代表制の一翼を担う市議会には、市議会議員と同じく市民に選ばれた市長の行政運営の監視と政策提言という、大きな2つの役割があると考えます。

31名の市議会議員一人一人が、その重責を自覚しつつ、それぞれの意見を互いに尊重し、合議体として、市民の皆様にとって最善の結論方向性を示していかねばなりません。常に、市民にとって最良の方向はどこにあるのかを考え、議会の権能を最大限発揮できるよう、議長とともにその職責を全うしてまいります。市議会に対し、厳しくも温かいご指導を心よりお願い申し上げます。

常任委員会の構成を
変更しました

総務委員会

◎山見 敏雄 ○大來 尚順
・原 真也 ・植野 伸一
・富田 正朗 ・野村 幹男
・村上 満典 ・大田たける

教育民生委員会

◎梶山 俊哉 ○栗林 正
・坂井 芳浩 ・米本 太郎
・中野 光昭 ・瀧川 勉
・有田 敦 ・尾上 頼子

生活環境委員会

◎野村雄太郎 ○倉増 賢治
・鳥養 祐矢 ・馬越 帝介
・其原 義信 ・伊藤 青波
・部谷 翔大

農林建設委員会

◎山本 敏昭 ○安河内 淳朗
・入江 幸江 ・山本 浩二
・宮川 英之 ・野島 義正
・伊藤 斉 ・竹中 一郎

予算決算委員会

◎村上 満典 ○原 真也
・委員29名

議会運営委員会

◎原 真也 ○山本 浩二
・坂井 芳浩 ・梶山 俊哉
・宮川 英之 ・野島 義正
・其原 義信 ・伊藤 斉
・山見 敏雄 ・大田たける

(◎)委員長 (○)副委員長

全員賛成で可決した議案

予 算

- 令和6年度山口市一般会計補正予算（第1号）

事 件 議 決

- 山口市税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市都市計画税条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 山口市企業の地方拠点強化の促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例に関する専決処分について
- 固定資産評価員の選任について（敬称略）
古谷 一成（新任）
- 監査委員の選任について（敬称略）
馬越 帝介（新任）

議会の構成
(市議会ホームページ)



部活動地域移行の先行き

本市では、本年3月に山口市中学校部活動の地域クラブ活動への移行に関する推進方針が策定された。今年度から部活動地域移行推進室が設置され、当初予算には、移行に向けた実証事業に約1,700万円が計上されている。

こうした中、現在も、指導者や活動環境の確保、送迎を含む保護者の負担など多くの課題があり、地域移行の開始時期も明確になっていないことから、関係者が準備に着手できない状況にあると指摘した。



執行部からは、生徒に寄り添った生徒ファーストの視点に立ち、令和8年度に県内で開催される全国中学校体育大会や、今年度入学した1年生が、3年生最後の大会まで部活動に取り組める環境を確保するため、地域移行の開始時期を令和8年9月としたいとの答弁があった。

ジャパンプレード&ストリートフェア2024への参加について

5月11日にニューヨークで開催された「ジャパンプレード&ストリートフェア2024」に、本市から伊藤市長をはじめ19名が参加し、山口市の魅力を発信されたことに関し、参加に至る経緯や意義、約2,000万円の費用に対する妥当性について説明を求めた。

執行部からは、今回のパレード参加について、在ニューヨーク日本総領事館から県などを通じ参加の打診を受け、本市の認知度をさらに向上させる絶好の機会と捉え、参加する方針に至った旨の説明があった。また、パレードについての発信は、日本とアメリカのテレビ・新聞等で104件、YouTubeでの視聴は、1か月で8万件を超えるなど大きな反響があり、今後の経済効果への期待を示すとともに、現地での人的ネットワークの構築ができたとし、その意義を明らかにした。



自然災害への備え

豪雨災害や地震に対する防災や減災の取組について質問し、執行部からは、現在実施している取組や今後進めていく取組について答弁があった。

- ・集中豪雨への対応として、緊急度の高い河川から浚渫を実施する。
- ・内水氾濫への対応として、新たに高機能の排水ポンプを導入した。
- ・地震への備えとして、木造住宅の耐震化やブロック塀の除却に対する助成制度を設けている。また、家具等の転倒防止促進策については検討を行う。
- ・「山口市防災ポータル」を新設し、様々な防災情報の発信を行っている。
- ・避難行動要支援者等管理システムを導入し、避難マイプランの作成に努め、逃げ遅れゼロを目指す。
- ・避難所運営ガイドラインにプライバシーの確保について明記した。これを踏まえ、避難所の間仕切りやテント等の備蓄について計画的に整備を進め、避難所生活が長期化しても安心して過ごせる環境を整える。



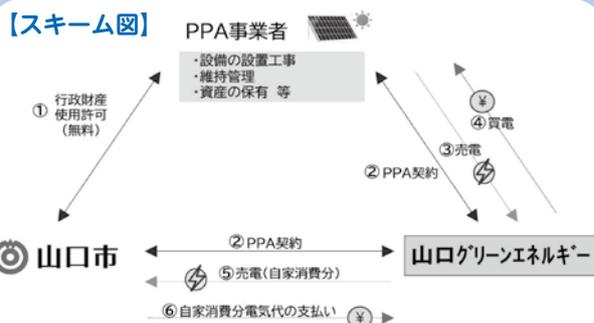
地域新電力会社 今後の展開

脱炭素先行地域の取組の一環として、市公共施設にPPA（電力購入契約）方式により太陽光発電設備を導入する事業に対し、国から地域脱炭素移行・再エネ推進交付金2,666万6千円が交付決定された。この事業は、山口市のほか、山口市と民間事業者の共同出資により設立された山口グリーンエネルギー株式会社、太陽光発電設備を設置するPPA事業者の3者で推進することとしており、国からの交付金はPPA事業者に対して交付する。

委員からは、山口市の第三セクターである山口グリーンエネルギー株式会社の事業運営において、今後、市や市議会が事業費等の正当性や妥当性についてどのようにチェックしていくのかといったガバナンスへの不安や意見、指摘がなされた。

▶スキーム図をもとに仕組みを説明すると

- ①市が市役所新本庁舎と白石地域交流センターの屋根をPPA事業者に無償で貸し出す。
- ②PPA事業者は自社負担により太陽光発電設備を設置する（市は初期投資なしで太陽光発電設備を導入することができる）。
- ③④発電した電気は、PPA事業者から山口グリーンエネルギー株式会社が購入する。
- ⑤⑥グリーンエネルギー株式会社は、市に売電する。



公共交通の今後について

コロナ禍の影響で公共交通利用者が減少し、元の水準には戻っていない上に、2024年問題による運転手不足の影響もあり、バス路線の廃止や減便が行われている。一方、DXや技術の進展は目覚ましく、これらにより、公共交通の直面する諸課題の解決ができないか期待を寄せる。

本市に数多くある遮断機や警報機のない第4種踏切の安全対策として、JR西日本では「踏切ゲート-Lite」の導入・設置を進めている。設置費用が通常の踏切改良の10分の1程度に抑えられ、特に効果的な簡易ゲートであるため、市としても、市民の安全を守るという面から、JR西日本に対してしっかり働きかけをするとともに、整備が進むまでの間についても安全性を高めるための特段の取組を求めた。

JR 山口線新駅設置に係る調査結果についてのやりとり

- 問** 概算事業費約20億6千万円の費用に対し、新規利用者数が少なく採算が取れないのではないか。設置することとなった場合の事業費負担について、自治体が新駅建設を要請する請願駅の場合、100%自治体負担となる場合が多いが、利用者増加によりJRの収益が増すのであれば、応分の負担を求めるべきではないか。
- 答** 新駅の設置は一旦保留とし、今後のまちづくりの進展や社会経済情勢等の変化を慎重に見定める必要がある。

山口県農業試験場等の跡地利用 検討状況をわかりやすく！

5月には山口商工会議所から要望が、6月には大内地域住民から請願が提出され、経済界や市民から注目されるとともに、不安視もされている。

サウンディング型市場調査（※）の結果や、「農業試験場等跡地利用検討協議会」の中間整理が公表されたが、交通渋滞対策や雨水排水対策の状況などは見えにくく、「農業試験場等跡地利用検討協議会」の検討状況に対する質問がなされた。

また、10月頃には基本計画が公表される予定であり、市民の意見を集約する方法として、大内地区の全戸アンケート、説明会や意見交換会、地域交流センターや市役所で気軽に意見を言える場などを提案する意見もあった。

（※）サウンディング型市場調査…民間事業者との対話によって市場の動向や活用アイデアなどを把握する調査の手法。

議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

予算

- 令和6年度山口市一般会計補正予算（第2号）
- 令和6年度山口市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

条例

- 山口市税条例の一部を改正する条例
- 山口市放課後児童クラブ設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市地域交流センター設置及び管理条例の一部を改正する条例
- 山口市水道事業等布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例

事件議決

- 住居表示を実施する区域及び住居表示の方法について
- 重源の郷体験交流公園の指定管理者の指定について
- 道の駅仁保の郷大規模改修電気設備工事の請負契約の締結について
- 道の駅仁保の郷大規模改修工事の請負契約の締結について
- 山口市新本庁舎棟新築工事の請負契約の一部を変更することについて
- 山口市新本庁舎棟新築電気設備工事の請負契約の一部を変更することについて
- 山口市新本庁舎棟新築機械設備工事の請負契約の一部を変更することについて
- （仮称）湯田温泉パーク新築工事の請負契約の一部を変更することについて
- 鑄銭司第二団地用地の売払いについて
- 消防ポンプ自動車の取得について
- 高規格救急自動車の取得について
- 山口市立小中学校電子黒板等の取得について（2件）

●農業委員会の委員の任命について（19件）（敬称略）

再任	荒瀬 澄枝	伊藤 良一	井上 浩一郎
	上田 正士	小野 基之	片山 潤之
	賀屋 忠之	恒富 竹司	徳田 文雄
	長尾 誠大	中川 恵美子	藤原 敏郎
	安田 敏男	安野 正純	

新任	小野 悟	中野 克俊	西村 健
	八木 学	吉武 和子	

農業委員会の委員とは

農地利用の最適化の推進に関する指針の決定、農地の権利移動の許可、農地転用許可に当たって具申すべき意見の決定、農地利用の最適化の推進に関する施策について提出する意見の決定等を行います。（任期は3年）農業委員の任命に当たっては、市長が農業に関する識見を有する者等のうちから候補者を決定し、議会の同意を得ることが必要とされています。

【イメージ】



東部方面隊小鯖分団に配備される消防ポンプ自動車

【イメージ】



中央消防署に配備される高規格救急自動車

賛否が分かれた議案と審議結果（○は賛成、×は反対）

議案		審議結果	未来志行山口	やまぐち有隣会	県都創生山口	公明党	高志会	市民クラブ	日本共産党	地域政党やまぐちの風
事件議決	山口県後期高齢者医療広域連合規約の変更に関する協議について	可決	○	○	○	○	○	○	×	○
	湯田温泉パークの指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	○	×	○	○
請願	農業試験場跡地利用計画に市民の意見を反映するよう求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×

山口市議会では、「総務」教育民生」「生活環境」「農林建設」「予算決算」の常任委員会を設置し、各委員会が所管する部局の議案や業務等の審査・チェックをしています。

各委員会の所属議員、所管する部局、日程など、詳しくは市議会ウェブサイトに掲載しています。



災害時の自主防災組織の取組

自主防災組織においては、様々な防災活動を自主的に行っていたりしている。避難情報発令時は、災害発生のおそれがあり危険箇所の見回りはかえって危険なため、まずは身の安全を確保した上で、避難の呼びかけを行う等、組織的に取り組まれている。取組の好事例として、市が発令した避難情報を、連絡網を活用して全戸に避難の呼びかけをされたこと等が挙げられる。
(担当部局：総務部)

委員の意見

・率先避難等の取組については、自らの安全確保を第一とされた上で、引き続き、地域防災の向上に努めていただきたい。



新本庁舎棟新築工事等の契約の一部を変更

新本庁舎整備事業における3つの工事請負契約を増額する変更契約をした。増額理由として、新築工事及び機械設備工事については、施工に係る労務費及び工事材料費価格の上昇に伴い、契約約款の規定に基づき、契約金額を増額した。また、電気設備工事については、労務費及び工事材料価格の上昇に加え、庁舎運用の協議を進める中、セキュリティ強化を図るために建物や諸室への入退室を制御する電子錠やカードリーダーなどの設備を増やすとともに付随する制御システムの追加により契約金額を増額した。
(担当部局：総務部)



総務委員会

総務委員会

こんな議論をしました

地域づくり交付金の今後の在り方は

今期定例会では、昨今の人件費の改定や物価高騰などの環境変化により、事業展開に苦慮されている地域の実情を踏まえ、地域づくり交付金の在り方について議論した。今後、各地域の現状把握を行い、分析した上で、来年度の地域づくり協議会の予算編成までには方向性を示したいという市の考えを確認した。
(担当部局：地域生活部)

生活環境委員会



湯田温泉パークの指定管理者の選定について

令和7年4月1日から令和10年3月31日までの湯田温泉パークの指定管理者に「湯田温泉にぎわい創出共同企業体」を選定した。

審査においては、安全安心な施設管理が見込めることに加え、地域と連携した多様な交流事業の提案と地元飲食店等と連携したカフェ運営などの地域内外の企業との連携による自主事業の提案により、施設の目的である多様なにぎわいの創出が期待できると評価し、同法人の選定に至った。
(担当部局：交流創造部)

問 指定管理者候補者選定基準の管理運営経費の縮減の視点について、適切に判断できる選定委員の構成となっていないのではないか。

答 本施設が持つ多様な機能の中で、それぞれの分野に対応した学識経験者や民間経験者の方に審査をお願いした。経営の助言等を行う団体の方にも委員になっていただいている。

問 地域住民から選出された選定委員がいない中で、館長や総合プロデューサーの人選に係る提案をどのように判断したのか疑問がある。地域との連携について尽力されたい。

答 館長や総合プロデューサーの選定から就任に当たっては、今後、地域の意見を伺いながら、信頼関係を築けるよう進めていく。

賛否に係る委員の意見

- ・委員会審査時にも指摘したとおり、本件に係る選定委員については、民間団体から選出されたとは言っても、民間の経験者とは言い難い人選となっており、賛成できない。
- ・指定管理者候補者の選定については、2者の応募があり、それぞれの提案内容を比較した上での結果であり、妥当と考える。

生活環境委員会



市立小・中学校の インターネット通信環境の状況は

教育民生
委員会

全国の公立小・中・高等学校のうち、文部科学省が設けたインターネットの通信速度の推奨値を満たした学校が2割にとどまるとの文部科学省の調査結果が令和6年4月に公表された。

調査結果の公表を受けて改めて測定したところ、本市の市立小・中学校では、49校中47校が通信速度の推奨値を満たしていた。

残りの2校についても、通信契約の見直しにより、令和6年度末までには通信速度の推奨値を満たす見込みとなっている。

(担当部局：教育委員会事務局)



子宮頸がんワクチン接種勧奨の 取組状況について

教育民生
委員会

対象者への周知については、今年度は接種案内の封筒に工夫を加える等、個別勧奨に力を入れているところである。

学生に向けた接種勧奨としては、大学で開催する健康セミナーでのチラシの配布を予定しており、今後も学校等の意向を確認しながら啓発に取り組みたい。

また、地域に多い薬局を通じて、接種対象者等がワクチンの情報を対面で入手できれば、ワクチンへの理解も深まり、接種行動につながることも期待できることから、薬剤師会との連携は大変有効だと考えており、情報を共有しながら、今後取組を進めたい。

(担当部局：健康福祉部)



HPV「キャッチアップ接種」
2025年3月まで
平成9～19年度生まれの女性対象



一般国道2号台道・鑄銭司拡幅 新規事業化

農林建設
委員会

4月1日に国土交通省から「一般国道2号台道・鑄銭司拡幅」の新規事業化が発表され、当該区間の4車線化と歩道の設置に向けた事業が着手されることとなった。今年度は、事業主体である国土交通省の主導の下、地元や関係団体等への事業説明及び測量等の着手が見込まれており、山口市としても、国、県、関係団体等と連携を図りながら早期整備に向けて取り組んでいく。(担当部局：都市整備部)

委員の意見

・地元では事業化に期待する反面、不安に思われる方もおられるため、丁寧な説明や相談に努めていただきたい。



道の駅あいお移転整備の 進捗状況は

農林建設
委員会

道の駅あいお移転整備は、敷地のゾーンニングや道の駅として必要な機能について、秋穂地域の方や道の駅関係者の方からご意見を伺うため、ワークショップやヒアリングを開催している。引き続き、地域の方や道の駅関係者の方からご意見を伺いつつ、県とも調整を図りながら、10月頃に基本設計を取りまとめたい。

(担当部局：農林水産部)



委員の意見

・ワークショップ等を行い地域の方の意見を聞き、基本設計の参考にすることは評価するが、プロポーザルで決まった設計者のコンセプトや思いも生かして取り組んでいただきたい。



市長に聞きたい! どうなる? これからの山口市

★議員が何を質問したか読んでみましょう! ★一般質問の制限時間は質問と答弁を合わせて50分です。
★質問と答弁の映像は各議員の二次元コードから見るができます。
※必要な場合には二次元コードリーダーをインストールしてご覧ください。※情報の受信にかかる通信料は利用者負担となります。

行政 新市発足20年に向けた総括と今後の展望!

令和7年度後半には着手したいと考えている。



問 令和7年度に新市発足20年を迎えるに当たり、合併後のまちづくりの総括と今後の展望を伺う。また、担い手が減少している中、地域づくりにおける人材育成や仕組みの再構築が必要であると考えるが、今後の方向性と展望を伺う。

答 新市発足以降、人口減少に備えた未来への投資や市民生活を支える基盤整備、市民サービスの向上を積極的に進めてきた中で、新市のまちづくりは一定の成果が出ていると総括している。今後、従来の施策展開に加え、新たな時代の流れを踏まえながら、後期基本計画における6つの重点プロジェクトをしっかりと進めていく。また、地域づくりにおける人材育成や仕組みの再構築について検討の必要性を認識し、令和7年度後半には着手したいと考えている。

未来志行山口
原 真也
はら しんや

行政 十分な経験と技術とを備えた職員の確保を!

組んでいく。



問 大規模広範囲な自然災害の発生時には、本市職員が中心となり応急復旧などを担うことになるが、十分な経験と技術を持った人材の確保ができていないとは言い難い。人材確保のため、今後どのように取り組まれるのか伺う。

答 技術職員の確保が全国的に難しい中で、本市では、受験可能年齢の引上げや学歴要件の緩和、試験日程の前倒しなどに取り組んできた。今後も職員募集方法の見直しや職員の待遇改善に取り組む。優秀な職員の確保に努める。また、今回策定した山口市人材育成・確保基本方針に、仕事を通じた人材育成風土の醸成に取り組むことを掲げており、職員が知識や経験、技術を蓄え、成長を実感できるような仕事の組立てや人材育成に重点的に取り組んでいく。

やまぐち有隣会
山本 浩二
やまもと こうじ

行政 中長期的な取組のうち優先すべき事項は

いていき



問 「ずっと安心 元気山口」の実現に向けて、今後、中長期的に取り組むべき事項について、市長の考えを伺う。

答 中長期的な取組として、持続可能な未来都市づくりを重視しており、人材育成のHX、デジタル技術活用DX、地域脱炭素推進のGXの取組を進めていく。未来を担う人材育成のHXは、あらゆる施策分野で中長期的に取り組むべきと考えており、人材育成を通じて、中小企業や農林水産業などの分野、地域交流センターと連携した社会教育活動や地域活動等の分野で活性化を図っていく。本市最大の資源は人であり、人材育成や人への投資につながる社会基盤整備やソフト事業の展開は、財政計画上のバランスを図りつつ、継続的に中長期的に進めていく。

京都創生山口
野島 義正
のしま よしまさ

健康 COPD(慢性閉塞性肺疾患)対策について!

- その他の質問
- 給水スポット対策
- 学校図書館の充実

問 本市のCOPD対策の取組について、所見を伺う。

答 本市では、令和4年死亡総数2,456人に対し、COPDを死因とする死亡者数は41人。山口市健康づくり計画においては、喫煙率のさらなる低下を図るため、国や県のたばこ対策を踏まえて「たばこを吸っている市民の割合を9%以下、たばこを吸っている妊婦の割合をゼロに近づける」と具体的な目標を設定し、内容を工夫した情報発信により周知啓発に取り組んでいる。認知度向上のため、県と連携した取組など、機会を捉え幅広く啓発に取り組むことで、COPDの発症・重症化予防に努めている。



公明党
栗林 正
くりばやし ただし

防災 豪雨災害について

問 水害(洪水・土砂災害)等避難行動タイムラインの作成指針について、市の考えを伺う。

答 この指針は、水害等発生時に、自主防災組織等によって、自主的・自主的な避難行動をとってもらうタイムライン作成のための指針で、タイムラインとは、いつ、どこへ、どのような避難をするかを定めておく計画である。本市では、今年度、避難行動要支援者等管理システムにタイムラインを管理する機能を追加する予定で、まずは一般の避難所への避難が困難な方が適切な避難を行えるように整備していきたいと考えている。併せて、他市の事例も参考にしながら、広く市民の皆さんに活用いただけるような取組への展開も検討している。



高志会
伊藤 青波
いとう しょうは

行政 女性職員の働きやすい職場の実現を!

問 特有の健康課題を抱える女性が社会の中で活躍するために欠かせないのは、職場の理解や支援などである。女性をはじめ職員全体が働きやすく、やりがいのある職場の実現について、所見を伺う。

答 本市では、今回策定した人材育成・確保基本方針に、女性職員が働きやすい職場環境の整備を掲げ、国でも女性活躍推進法の改正が検討されている。今後も、女性特有の健康課題に対する職員の理解を促す研修や休暇制度等の周知に取り組みとともに、国の動向に注視しながら対応していく。女性が働きやすい職場は、女性以外にも働きやすい職場であると考えており、職員全体が働きやすく、生き生きと活躍できる職場の実現と職員の定着につなげたい。



市民クラブ
山見 敏雄
やまみ としお

税 市民の暮らしとNYでのジャパンパレード参加

問 市民は物価高に苦しみ、また、裏金問題による政治不信もある中、2千万円も使ってニューヨークに行くなど市民がふんまんやる方ない思いを抱くのは当然だ。税金の使い方としてふさわしくないと考え、市長の見解を問う。

答 本市の文化を祭りという形で宣伝した。様々なメディアやインフルエンサーによる国内外への発信力と影響を実感し、今後の経済波及に期待している。市民生活にしっかりと波及するよう取り組むことが今後の課題と考える。



ニューヨークでのパレードの様子

日本共産党
尾上 頼子
おのうえ よりこ

交通 JRの新駅より目の前の課題にお金と知恵を!



日本共産党
大田 たける

おおた たける

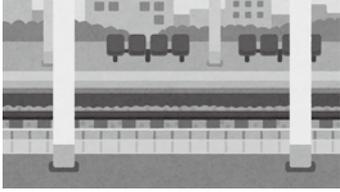


問 JR山口線新駅設置の調査結果から、現時点では慎重な検討を要するとし、まずは利用促進や利便性向上の取組を進めるとされた。公共交通の目の前の課題にお金も知恵も集中すべきではないか。

答 この調査は山口駅と湯田温泉駅の間点を候補地として実施したが、検討は一旦保留とし、今後のまちづくりの進展などを見定めていく。

問 昨年6月議会でも、新駅は次期総合計画の選択肢になる旨の答弁があった。一旦保留は中止ではないか。

答 JR西日本は新たな需要が千人必要とされているので、確認の意味で調査をしたが、乖離があり慎重な検討を要する。何が何でもはなく、広い意味での公共交通の活用の観点で進めたい。



教育 誰一人取り残さない教育とは!!



やまぐち有隣会
中野 光昭

なかの てるあき



問 多面的な教育支援チームの必要性、また、地域の教育拠点であるフリースクールの現状認識について伺う。

答 今年度新たにスタートした本市独自の取組である学校と地域が連携したフューチャールーム事業など、地域や医療・福祉機関と連携を深める連携体制づくりを進める。フリースクールは児童生徒の居場所の一つであると認識しており、支援の在り方など、学校とフリースクールがより連携を図ることができるよう努める。不登校児童生徒の対応は明確な答えがあるものではないが、登校できる、登校できないに、関係なく、応援し続けることが子供の社会的自立につながることを確認している。



●その他の質問
○部活動地域移行の先行き

観光 分析と戦略で山口市はもっと稼げる!



やまぐち有隣会
野村 雄太郎

のむら ゆうたろう



問 観光振興におけるマーケティングの視点で、戦略的に施策展開してはいいか。

答 マネジメントやマーケティングを行い、誘客消費の最大化に向けた取組を積極的かつ戦略的に進めていく。

問 温泉むすめという全国にある温泉地をモチーフとしたキャラクターが湯田温泉にもいるが活用されていない。開発コストや時間をかけずに誘客や消費額増加につなげられると考えられるので、ぜひ活用してはいいか。

答 関係団体の意向も踏まえ、研究、検討してまいりたい。



温泉むすめの湯田温泉キャラクター「湯田薫(ゆだかおる)」

●その他の質問
○先進的な機器を活用した介護サービスの提供について

福祉 介護・高齢者福祉の担い手に厚い支援を!!



公明党
其原 義信

そのはら よしのぶ



問 介護支援専門員の処遇改善(人材確保、負担軽減、業務量に見合う報酬)について善処されないか伺う。

答 介護職の人材確保に向けた魅力発信として、中学校での介護体験を行っている。また、主任介護支援専門員の資格取得及び更新に係る費用の一部を助成している。なお、介護報酬改定で介護専門員の取扱い件数が拡大され報酬の増加が見込まれる。

問 通所介護サービスは、送迎距離が広範囲な中山間地域では事業者の負担が大きいので、支援がでないか伺う。

答 地域の特性を踏まえ効率的なサービスを展開できる仕組みや支援の在り方を検討していきたい。



●その他の質問
○協働によるまちづくりについて

協働 高齢化する地域づくりの担い手確保策は？

○防災・減災について

●その他の質問
 地域づくりに関わりたい、やってみたいという思いのある地域住民が参加しやすい環境整備が必要と考える。現状認識と取組を伺う。



問 地域づくりに関わりたい、やってみたいという思いのある地域住民が参加しやすい環境整備が必要と考える。現状認識と取組を伺う。

答 これまで培われてきた地域活動が継続できるように、参加意欲のある方だけでなく、関心のない方も含め、幅広い世代の参加を促進し、参加しやすい環境を整備することは重要と認識している。地域づくり活動に参加意欲のある方のボランティア登録制度を設け、参加方法がわからない方には地域交流センター職員がコーディネートし活動の場につなぐなどの支援を行っている。将来的な人材確保も見据え地域と連携し、知恵を出し合いながら地域づくり活動を推進していく。



やまぐち有隣会
植野 伸一
うすの しんいち



教育 学校・家庭・地域の絆で誰一人取り残さない！

○その他の質問

●その他の質問
 関係団体などへの説明、ヒアリング、現状調査、児童生徒へのアンケート調査を実施し、現状把握や課題を整理し、多岐にわたる検討課題が明らかになった。移行開始時期を令和8年9月とし、地域クラブ化のイメージは、中学校単位を基本とし、各学校の実情に応じた組織化を検討していく。

問 ステップアップルーム事業の成果と課題、今後の不登校対策を伺う。

答 設置校3校で合わせて70名が利用し、30名近くが教室復帰した。心の安定や身体症状の回復が見られた事例もある。ステップアップルーム未設置校には、フューチャールーム事業を開始し、不登校の未然防止にも期待している。

交流 部活動地域移行への展望
問 部活動地域移行の現状と今後の取組を伺う。

答 関係団体などへの説明、ヒアリング、現状調査、児童生徒へのアンケート調査を実施し、現状把握や課題を整理し、多岐にわたる検討課題が明らかになった。移行開始時期を令和8年9月とし、地域クラブ化のイメージは、中学校単位を基本とし、各学校の実情に応じた組織化を検討していく。




未来志行山口
鳥養 祐矢
とりがひ ゆうや



生活 地域づくりは不動産！

○行政改革について

●その他の質問
 地域づくりは不動産！



問 スーパーやドラッグストアなどの日常のサービス機能を、小鯖や鑄銭司において、企業誘致と同じ考え方で戦略的に誘致できないか。

答 市内21地域のうち人口減少が進んでいる9つの地域を「農山村エリア」と位置づけ、地域活性化に重点的に取り組んでいる。居住促進を図る上で買物機能の維持・確保は大変重要であると考えている。買い物機能が不足している地域への新規立地・誘致については、それぞれの地域に小規模事業者など様々な事業者がおられるので、そうした影響も考えつつ、今後は地域の皆様や事業者の皆様のお話を伺いながら、情報収集を進め検討していきたい。



高志会
有田 敦
ありた あつし



子育て 市立小中学校「家族でやま学の日」二学期中開始

○高齢者そとと見守り活動

●その他の質問

問 昨年9月議会で、公立学校における児童生徒が欠席扱いとならない平日休暇の取組を提案したが、山口県は、本年6月から、県立学校で平日休暇の取組を開始した。本市での平日休暇の取組について今後の方向性を伺う。

答 県においては、休暇を家族で一緒に過ごせる仕組みづくりの一環として、休業日以外に家族とともに校外での体験や探求の学び活動を考え、企画し実行できる「家族でやま学の日」を創設され、県立学校や県内自治体の一部では6月から運用が開始された。本市教育委員会も、本制度の導入に向けて保護者や学校が円滑に活用できる仕組みづくりを進め、2学期中に運用開始できるように取り組む。




県都創生山口
倉増 賢治
くらまし けんじ



交通 こども50円バスの期間・対象者の拡大を!

い。緒に研究したの場、今後一業者との協議のため、バス事業者との協議の場、今後一



問 路線バスの運行状況をみると、秋穂地域など過疎地域において乗客なしでの運行が見られる。利用促進の取組として、バス事業者では夏休み期間等に小学生を対象にこども50円バスの取組を実施しているが、中学生も対象に一乗車50円で乗車できる制度を創設できないか。

答 路線バスの利用促進に向け、ノーマイカーデーの取組や交通系ICカード端末機設置支援等に加え、市内11の小学校でバスの乗り方教室を実施し、公共交通への興味・関心を育んでいる。夏休み期間等に限らず通年にわたり小・中学生が50円で路線バスに乗車できる制度の創設については、実際の需要予測をはじめ多くの検討事項があるため、バス事業者との協議の場、今後一



やまぐち有隣会
富田 正朗

とみた まさひろ



福祉 より良い認知症対策を目指して!

の複数開設について柔軟な対応を行ってきたい。



問 中山間地域をはじめ、必要な地域に必要な数の認知症カフェが設置できるような設置基準の柔軟化など、今後問われてくる認知症カフェの在り方について伺う。

答 認知症カフェは認知症に関する相談機能を有しているが、昨年実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、認知症に関する相談窓口を知らないという回答された高齢者が62・1%となっており、まずは早期に相談できる窓口の周知を図っていくことが重要と考える。高齢者人口や面積などの地域特性や、地域住民等からのカフェ設置や開設を希望する団体からの要望等の状況を把握しながら、同一地域内の複数開設について柔軟な対応を行ってきたい。



未来志行山口
大來 尚順

おおぞ なおゆき



定住 農山村エリアの皆様の声を聞いて計画策定を!

しながら検討していく。



問 今年度策定予定の農山村エリア居住促進計画の基本方針について、地域によってはその範囲に居住を促進することが難しいのではないかと考える。そこで各地域における具体的な居住促進を図る区域の検討状況について現時点での考えを伺う。

答 各地域における生活関連機能の立地状況等の視点から、地域交流センターや分館を中心としたエリアに加え、小学校を中心としたおおむね半径500メートルの範囲を基本にしながら、徒歩での移動範囲を半径1キロメートルまで拡大することを検討している。また、小鯖地域においては国道262号沿いのエリアを居住促進を図る区域とすることを検討している。農山村エリア9地域の皆様のご意見を伺いながら検討していく。



未来志行山口
米本 太郎

よねもと たろう



都市 市民の生活や幸福度向上に貢献する大学連携

く。連携し、知的、人的資源を生かした様々な施策を進めていく。

デジタル庁 HP
地域幸福度調査
ダッシュボード



問 本市の人口も19万人を切り、人を引きつける独自のまちづくりが必要である。ウエルビーイングを意識した取組が期待される中、学生の本市への就職や定住を図るため、今後どのように大学との連携や協働を強化されるのか。

答 令和4年3月にデジタル技術を活用し、地域課題の解決を図るスマートシティの取組の方向性を示す山口市スマートシティ推進ビジョンを策定し、大学等と連携を図る取組などを位置づけた。LWC指標等も参考にしながら学都山口のまちづくり連携の取組を始めており、まず、3大学による人や地域のウエルビーイングに貢献する文系DX人材育成事業との連携が始まっている。今後3大学と連携し、知的、人的資源を生かした様々な施策を進めていく。



未来志行山口
安河内 淳朗

やすこうち あつろう



農業

ほ場整備事業の推進に、まさかの霹靂(激震)!

へきれき

粘り強く要望
して行く。
しを国に対し
て必要な見直
度全般につい
としては、制



問 国は令和3年12月に、令和4年度以降の5年間に一度も水稲の作付が行われていない農地を直接支払交付金の対象外すると打ち出した。この要件を今年5月に認識したほ場整備事業の推進地域では、不安や不満、憤りの声が上がっている。本市の認識と対応について伺う。

答 国の政策転換により中山間地域では耕作放棄地化が進んでいる。こうした中でこのたびの変更は、南部地域のようには、ほ場整備事業の新規採択に向け協議等を進めている地域では、農地の集積・集約化、担い手の経営基盤強化等の阻害要因となり、事業推進に重大な支障を来すおそれがある大きな問題と認識している。本市



未来志行山口
坂井 芳浩



交流

中学校部活動の地域移行・令和8年9月から!

情報提供
に努めた
て、きめ
細やかな
情提供



問 部活動の地域移行について、現在どのようなスケジュールを想定し、検討を進めているか伺う。また、様々な実施形態が想定され、なるべく早く方向性を示すべきと考えるがいかがか。

答 部活動の地域移行の開始時期については、3年生が部活動を引退するタイミングを一つの区切りとすることが最もスムーズと考える。今年度入学した1年生が3年生最後の大会まで部活動に取り組める環境を確保するため、開始時期を令和8年9月とし、また、地域クラブ組織化の方向性については、中学校区単位での組織化を基本とし、学校規模や部員数などを勘案するほか、各学校の実情に応じた組織化を検討し、検討の節目において、きめ細やかな情報提供に努めた。



高志会
伊藤 斉



防災

自助・共助・公助で自然災害に強いまちづくりを

討したい。
た先進自治体を参考にしながら補助制度の創設も含めて検討したい。

答 市民への家具類転倒防止策の補助のほか、自主防災組織による家具類転倒防止対策を活動補助金の対象としている自治体もある。こうした先進自治体を参考にしながら補助制度の創設も含めて検討したい。

問 地震時の家具等の転倒による被害の防止策として、家具転倒防止器具の購入や取付費用を対象とする、補助金制度の創設を提案する。

答 今年度の河川浚渫は、現地確認や市民の要望、各地域交流センターの意見等を基に実施箇所を決定し、着実に実施する。また、内水氾濫対策強化のために導入した移動式排水ポンプ4台は、事前の訓練や配置場所の確認を行い出動事態に備えている。

問 防災・減災に向けた取組状況について伺う。

山口市
防災ポータル
(市ウェブサイト)



未来志行山口
榎山 俊哉



防災

安心できるペットとの同伴避難に向けて



一緒に避難するにや

整を行いたい。
本市では、この協定に基づき、被災動物及びその飼い主に対し必要な支援を行いたいと考えているので、県獣医師会山口支部と連携を図り、円滑な支援ができるよう、早急に調整を行いたい。

答 被災時におけるペットのけがやストレス等のケアについては、ペットと共に過ごす飼い主にとって非常に重要な問題であると認識している。現在、県と県獣医師会が災害時における動物の救護に関する協定を締結している。

問 災害時の被災動物及びその飼い主の安心につながる取組について、獣医師による避難所の訪問診療を含めた様々な支援等、本市と獣医師の連携の深化について伺う。



公明党
山本 敏昭



都市 新本庁舎市民交流棟と広場の活用で賑わい創出!

●その他の質問
○山口県農業試験場跡地利用

市民交流棟では、カフェやコンビニの設置のほか、広場では、マルシェやキッチンカーによる販売、祭りのイベント等を想定している。ストリートピアノは本庁舎棟への音漏れによる窓サージや執務への影響等、開庁時間内の演奏には考慮すべき点があると考えられる。ミニコンサート等も同様であるが、土日等の閉庁日の利用を前提として設置の可能性を検討していく。



新本庁舎整備のイメージ図

問 新本庁舎市民交流棟と広場の活用についてのイメージや具体策、特にストリートピアノの設置について伺う。

答 市民交流棟では、カフェやコンビニの設置のほか、広場では、マルシェやキッチンカーによる販売、祭りのイベント等を想定している。ストリートピアノは本庁舎棟への音漏れによる窓サージや執務への影響等、開庁時間内の演奏には考慮すべき点があると考えられる。ミニコンサート等も同様であるが、土日等の閉庁日の利用を前提として設置の可能性を検討していく。



地域政党 やまぐちの風
竹中 一郎
たけなか いちろう



観光 持続可能な観光の推進に向けて

問 ニューヨーク・タイムズ紙の記事掲載を契機とする本市への観光客の増加に伴い、観光文化関連施設の利用増加が見込まれるが、長年入館料が据置き、駐車料があつたり、駐車場が無料の施設が多くある。持続可能な観光を構築するには、今後、使用料の見直しや有料化の検討も必要と考えるが市の見解を伺う。

答 使用料等は、4年ごとに見直しを行っているが近年は改定してない。昨今の人件費や物価の高騰により、施設の運営、管理に係るコスト等が増加傾向にある。公共施設の受益者負担の適正化を図る観点からも、適正な負担額の設定について各施設の特性を踏まえるとともに、社会経済情勢等を見極めつつ、使用料等の見直しを検討し、持続可能な観光を促進したい。

問 ニューヨーク・タイムズ紙の記事掲載を契機とする本市への観光客の増加に伴い、観光文化関連施設の利用増加が見込まれるが、長年入館料が据置き、駐車料があつたり、駐車場が無料の施設が多くある。持続可能な観光を構築するには、今後、使用料の見直しや有料化の検討も必要と考えるが市の見解を伺う。

答 使用料等は、4年ごとに見直しを行っているが近年は改定してない。昨今の人件費や物価の高騰により、施設の運営、管理に係るコスト等が増加傾向にある。公共施設の受益者負担の適正化を図る観点からも、適正な負担額の設定について各施設の特性を踏まえるとともに、社会経済情勢等を見極めつつ、使用料等の見直しを検討し、持続可能な観光を促進したい。

持続可能な観光
地域社会に与える利益を最大化し、悪影響を最小化する文化や自然に優しい観光地づくりをいう。



未来志行山口
馬越 帝介
まごし たいすけ



議会からのお知らせ

「山口市議会スポーツ応援議員連盟」設立

6月27日に「山口市議会スポーツ応援議員連盟」を設立しました。市民の皆様へ元気・勇気・感動を与える力のある本市のスポーツ活動を応援し、市民が一丸となって盛り上げようとする機運を高めるとともに、スポーツや武道の魅力を発信し、本市の発展に寄与するための取組を進めます。



市長に設立を報告



会 長 伊藤 斉
事務局長 鳥養 祐矢
幹 事 野村雄太郎 倉増 賢治
其原 義信 山見 敏雄
大田たける
顧 問 入江 幸江

会派の異動がありました (4月22日付)

安河内淳朗議員(最燃焼 → 未来志行山口)

会派結成 やまぐち有隣会

代表 山本浩二議員(徳孤会から)
富田正朗議員(南部の風から)
野村雄太郎議員(市民クラブから)

植野伸一議員(継続力の会から)
中野光昭議員(山口蒼志会から)
宮川英之議員(英知会から)

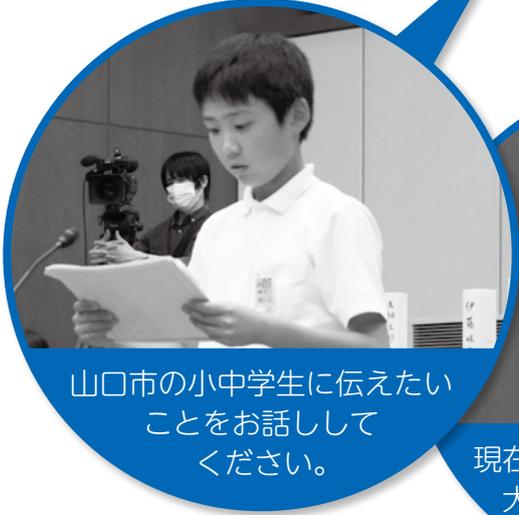
ようこそ議場へ

佐山小学校



模 擬 議 会 開 催

佐山小学校6年生23名、興進小学校6年生6名が市議会議場を訪れ、児童の皆さんが議員役となり、議会体験を行いました。議員役の児童の皆さんからは、問題点や疑問点など、たくさん質問が行われ、答弁者である市議会議員からは、その対策などについて答弁が行われました。



山口市の小中学生に伝えたいことをお話してください。



現在、山口市がかかえている大きな課題はどのようなことですか？

興進小学校



議会の主な動き



3月

- 14日 市議会だより等編集委員会(以下、「編集委員会」)、議会運営委員会



袖野木小学校閉校式(3月19日)



串小学校閉校式(3月23日)

- 28日 編集委員会

4月

- 5日 第90回山口県市議会議長会定期総会
- 10日 編集委員会
- 15日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 22日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 23日 中国市議会議長会第154回定期総会(～24日)

5月

- 7日 議会運営委員会
- 10日 会派代表者会議、議会運営委員会
- 17日 第2回臨時会、会派代表者会議、議会運営委員会
- 21日 全国温泉所在都市議会議長協議会第53回総会
- 22日 全国市議会議長会第100回定期総会

6月

- 3日 会派代表者会議、議会運営委員会、執行部説明会、広報広聴委員会、編集委員会
- 10日 議会運営委員会、第3回定例会初日(～7月1日最終日)
- 11日 議会運営委員会
- 17日 編集委員会
- 27日 山口市議会スポーツ応援議員連盟設立総会、編集委員会

7月

- 1日 議会運営委員会

おいでませ山口へ(行政視察の受け入れ)

全国各地から行政視察にお越しいただきました。

☑受け入れ団体(4月～6月)1団体

4月25日 大分県豊後大野市議会

行政視察を通じ、本市の取組や魅力をPRしていきます。

次回定例会日程のお知らせ

(予定)

陳情の受付…8月28日(水)まで 請願の受付…9月4日(水)まで

日	月	火	水	木	金	土
9/8	9	10	11	12	13	14
	本会議(初日) 10:00～					
15	16 敬老の日	17 本会議 10:00～(一般質問・質疑)	18 10:00～17:00 ケーブルで生中継	19	20 本会議終了後 予算決算委員会	21
22 秋分の日	23 振替休日	24	25	26 予算決算委員会 10:00～	27	28
29	30 教育民生委員会 10:00～ 生活環境委員会 10:00～	10/1 教育民生委員会 10:00～ 生活環境委員会 10:00～	2 総務委員会 10:00～ 農林建設委員会 10:00～	3 総務委員会 10:00～ 農林建設委員会 10:00～	4	5
6	7	8 予算決算委員会 10:00～	9	10 本会議(最終日) 10:00～	11	12

会議日は傍聴ができます。

議会の内容をウェブでご覧いただけます

- 山口市議会ホームページ
<https://www.city.yamaguchi.lg.jp/site/gikai/>



- インターネット録画中継
<https://cstream.c-able.ne.jp/yamaguchi-gikai/m/>



ご感想をお寄せください

議会や市議会だより、ホームページ等をご覧になったご感想やご意見をお寄せください。

住所：〒753-8650 山口市亀山町2番1号

電話：083-934-2854 / FAX：083-934-2658

メール：gikai@city.yamaguchi.lg.jp

あて先：山口市議会事務局「議会の感想」宛て

編集後記

新年度、臨時会で新たな体制となり迎えた6月定例会の模様をお届けします。紙面では極力要旨を絞って掲載し、詳細は二次元コードからご覧いただけるように見やすく分かりやすい紙面を心がけています。お気軽にご意見ご感想をいただければ幸いです。(大田)

市議会だより等編集委員会

委員長 大田たける 副委員長 中野光昭
委員 鳥養祐矢・安河内淳朗・米本太郎・植野伸一
倉増賢治・山本敏昭・有田 敦・部谷翔大

次号は11月15日発行です